

平成24 6. 17

1487人 伯耆路に列

全国各地、韓国からも参加



「第12回SUN IN 未来ウオーク」(N P O 法人未来、新日本海新聞社など主催)が16日、鳥取県倉吉市駅前経寺町の倉吉パークスクエアを主会場に2日間の日程で開幕した。

初日は日本各地と韓国から1487人が参加。時折降る雨を物ともせず、自然と歴史あふれる初夏の伯耆路を元氣よく歩いた。

(25面に関連記事) 同ウオークは、県中部1市4町の風光明媚な景観や名所を巡る8コースと、親子を対象とした3キロの保育コースを設定。今回から日本でも最も歴史あるウォーキングリーグ「日本マーチングリーグ」に加盟し、これまで以上に全国から多くのウォーカーが参加する大会となった。

初日は湯梨浜町の東郷池や今滝を巡る40キロコースや、緑あふれる大平山を越える20キロコース、倉吉市の伝統的なまち並みを散策する10キロコースなどが行われた。

2日目は倉吉市の旧国鉄線跡や北栄町のコナン通りなどを舞台に行われる。



「長蛇の列」をつくり、ゴールを目指して歩く参加者たち = 16日、鳥取県倉吉市の小鴨川河川敷